

『我が人生の支柱』



七転八起な小学生時代

小3で転校しました。鉄道会社ごっこをした記憶があります。クラスを巻き込んで、時刻表、路線図、切符、ICカードを作って社長役として張り切っていました。

小4からいじめを受けました。それがきっかけで犬を飼う事になりました。今でも一緒にいます。犬は大事な家族です。

いじめについて、周りと違うことがいじめられる原因だと今だったら思いますが、当時はなぜ？と理解できませんでした。

小5には、いじめられたことがきっかけで中高一貫校を受験することになりました。文化祭を見に行き、科学部のロボットを見て興味を惹かれて、塾にも入って受験勉強しました。結果的には無事合格でき、とても嬉しかったです。

TEENSは小学校3～4年のころに入って、最初はコンサルティングのお仕事、その次にカフェの接客をやって、いつもわくわくしながらやっていたのを覚えています。

ただカフェの仕事の時に『クレマー対応』というのがあるんですが、びっくりしてショックで泣いてしまって、TEENSのスタッフや親に心配されました。今思うと本当の仕事に着く前に接客業ってこんなお客さんもいるんだという事を学べてよかったです。

他にも本物の旅館やカフェに行ってお仕事体験でやったことを実践するイベントがあって、そこでコミュニケーションの取り方について実践で学べた事が良かったなと思います。

その他にも小学校ではいろいろな事に興味があって、味噌に関する自由研究では各地の味噌を親が実際に購入してくれて味や成分の違いを研究したり、『90円旅行!』と銘打って大回り乗車で90円でどれだけ移動できるか実験したり、松尾芭蕉の旅の痕跡を追って地図を模造紙に書いたり、興味の赴くままにいろいろな事をやった、やらせてもらった思い出がたくさんあります。小6で生まれて初めての彼女ができたのも思い出深いです...

感情の暴走...そして。中学校時代

苦労して受験して入った中学では、思春期や反抗期もあって...いろいろな人とぶつかりました。仲の良い同級生や先輩もできたのですが、何故か同性には気に食わないことがあるとすぐキレてしまって...暴れてました。今思うと周りを見る余裕がその当時は無かったのかなと思います。女子には優しくできたのですが。今思い返しても凄く短気でした。

家族に対しても反抗してしまって、でも気持ちをぶついたらそれ以上に返されてしまって、それ以上は反抗できませんでした。

その他にも先生を見るとすぐに敬礼したり、周りからすると嫌がられるようなことをしてしまっていたと思います。

それが中3の時、とても楽しみにしていた学校行事のあった頃に、大好きで尊敬していた祖父が亡くなりました。本当にショックで、学校でも思い出すと涙が止まらなくて、でも周囲の人がみんな気遣ってくれました。このことが転機になって、他者を慮る（おもんばかり）という事を知りました。

その後合唱コンクールのパートリーダーを任せてもらえる事になり、残って練習したり、練習した成果をインフルエンザで台無しにしないように『アルコール除菌キャンペーン』（アルコール除菌キャンペーン）を考案して学年全体で実施していました。嫌がられていた敬礼ポーズもU（ご本人のお名前）先生ポーズという名前が付けられてクラスに浸透したり。

級友や先生には本当に恵まれていたと思います。

TEENSではその当時あった専門クリエイティブというお仕事体験のコースにうつってそこでscratchでプログラミングをしたりマイクラで建築をしたりしてました。家でもscratchやマイクラを始めるなどしてしまうほど楽しかったです。

アイデンティティの確立、高校時代

中学3年での出来事がきっかけで人格が落ち着いてきて、高校入学後は中等部の部活の後輩から慕われるようになりました。同級生達とも自衛隊の基地行ったり、コミケに行ったりする計画を立てたり、

また高1のころロシアという国にとっても興味を持って、特に音楽が好きで毎日聞いたり同じ趣味の友人とロシア愛を語ったりしてました。そして急にコロナ禍がはじまり、計画していたことが全部できなくなって、更にウクライナ侵攻が始まってとてもショックでした。

受験の時は友達とよく学校に残って勉強していました。今思えばその時に周囲の受験生と差がついてしまったのかと思います。結果的には第一希望や私立大に不合格になってしまいましたが、周囲が気遣ってくれたり励ましをくれて、やはり周囲に恵まれていると感じました。

TEENSでは中学時代から徐々に、お仕事体験ではなく平日に対面やオンラインで面談をすることが増えていきました。家族と衝突することがあってストレスが溜まったりしても、TEENSで吐き出したことが良かったと思います。友達にも相談することはありましたが、また友達とは違う関係性の場所に相談できるのは大事だったと思います。

その他、大学受験に向けてのスケジュールリング等をTEENSではサポートしてもらいました。

家族から何か言われる度に、嫌だと思ったり当時はしていました。でも叱られるたびにその後に冷静になって罪悪感を覚えても、親からのアドバイスについてはほとんど実践することは無かった様な気がします。当時はめんどくさいとかそういう気持ちだったのかもしれませんが。

親からきつく言われて反抗していたけど、でも当時仮に優しく言われてもやったかどうかかわからないです。結局やらなかったのではないかとも思います。

TEENSでの約10年間を振り返ってみて、安全な守られた場所でイレギュラーとか理不尽な経験ができる事は大事だと思いました。細かいミスを指摘されて仕事中にキレたらクビになると思うんですが、実際に体験しないと自分が怒るとか、わからないじゃないですか。なので楽しくてワクワクする経験の他に、そういった体験ができたことが一番良かったと思っています。オンライン等は便利で大事だと思う一方で、実際に体験するのが大事なかなと思っています。

中高青春を振り返って

いろんなことがあったし、いろんな出会いがありました。その中で特に人との関りという意味ではTEENSの影響が大きくありました。

TEENSの後輩の皆さんへ。TEENSの利用の仕方は人それぞれだと思いますが、上手く自分の特性や課題感に合わせて使うのが良いと思います。

実際に仕事が体験できるイベントもたくさんあるので、実践をすることで成長の糧にしてほしいと思います。

H.Uさん 小学校：通常級⇒公立中高一貫校⇒大学進学

利用時期：小4～高3

参加プログラム：個別セッション、お仕事体験（プレティーンズ⇒専門クリエイティブ）

TEENSで行っていたこと：進学面談、お仕事体験、お宿TEENS等のイベント参加

長所：クリエイティブ、冒険家、古き良き時代への憧れ

過去の自分に一言：めんどくさがんな！
